

令和3年度全国高等学校総合体育大会
第71回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会
実施要項

主 催	公益財団法人全国高等学校体育連盟 公益財団法人日本スケート連盟 公益財団法人日本アイスホッケー連盟 青森県 青森県教育委員会 青森市 青森市教育委員会 八戸市 八戸市教育委員会 南部町 南部町教育委員会
共 催	読売新聞社
後 援	スポーツ庁 公益財団法人日本スポーツ協会 NHK 公益財団法人青森県スポーツ協会 一般財団法人青森市スポーツ協会 八戸市スポーツ協会 南部町体育協会 一般財団法人南部町健康増進公社
主 管	公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部 青森県高等学校体育連盟 青森県スケート連盟 青森県アイスホッケー連盟

1 会 期

区 分	期 日
開 始 式	令和4年1月17日(月) 14時～
競 技	令和4年1月18日(火)～21日(金) 4日間
閉 会 式	令和4年1月21日(金) 競技終了後

2 会 場

区 分	競技名	会 場
開 始 式	スピード競技 アイスホッケー競技	YSアリーナ八戸(八戸市)
	フィギュア競技	ホテル青森(青森市)
競 技	スピード競技	YSアリーナ八戸(八戸市)
	フィギュア競技	盛運輸アリーナ(青森市)
	アイスホッケー競技	テクノルアイスパーク八戸(八戸市) フラット八戸(八戸市) ふくちアイスアリーナ(南部町)
閉 会 式	スピード競技	YSアリーナ八戸(八戸市)
	フィギュア競技	盛運輸アリーナ(青森市)
	アイスホッケー競技	テクノルアイスパーク八戸(八戸市)

3 競技種別

(1) スピード競技

種別	距離					団体種目	
男子	500m	1000m	1500m	5000m	10000m	2000mリレー	チームパシュート(8周)
女子	500m	1000m	1500m	3000m		2000mリレー	チームパシュート(6周)

(2) フィギュア競技

男子	シングルスケーティング
女子	シングルスケーティング

(3) アイスホッケー競技 (男子)

男子	学校別トーナメント
----	-----------

4 競技日程

	スピード競技	フィギュア競技	アイスホッケー競技
18日 (火)	①男子 5000m ②女子 500m ③男子 500m	①女子予選 Aグループ ショートプログラム	1回戦
19日 (水)	①女子 3000m ②男子 1000m ③女子 1000m	①女子予選 Bグループ ショートプログラム ②男子予選 ショートプログラム	2回戦
20日 (木)	①男子 10000m ②女子 1500m ③男子 1500m	①女子予選 Cグループ ショートプログラム ②男子決勝 フリースケーティング	3回戦 準決勝
21日 (金)	①女子 2000m リレー ②男子 2000m リレー ③女子チームパシュート ④男子チームパシュート	①女子決勝 フリースケーティング	決勝

5 競技規程

令和3年度公益財団法人日本スケート連盟（以下「日本スケート連盟」という）、公益財団法人日本アイスホッケー連盟（以下「日本アイスホッケー連盟」という）競技規則・規程並びに本大会要項によるほか、公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部（以下「スケート専門部」という）規程による。

6 競技方法

(1) スピード競技

ア 男子、女子ともにチームパシュートレースを除く各距離及び種目は、ダブルトラックで競技を行う。

その競技場は、標準トラックとする。また、全ての距離・種目は、タイムレースで順位をつける。

イ 男子、女子ともに1000m以上の距離は、カルテットスタートの競技方法を採用する。

ウ 各距離の組み合わせ

※ 文中の「タイムランキング」とは前年度及び当年度に開催された、国際競技会を含む日本スケート連盟公式競技会における当該距離の自己最高タイム（令和3年12月26日までに処理されたもの）でつけられた順位を指す。同タイムの選手及びタイムのない選手は抽選により順位づけられる。

① 各距離の組み合わせはタイムランキングによって編成される。このとき、同じ組に同一校の選手が入らないように調整する。但し、同一カルテット内では調整しない。これらは、スケート専門部及び実行委員会事務局により事前に実施される。

② スタート順は、タイムランキング下位の組から滑走する。

③ **組み合わせ確定後に棄権者が出た場合でも再編成は行わない。**

④ 選手変更は、その距離・種目開始予定時刻の1時間前までに行うことができる。
補欠選手は当該校の選手の位置と入れ替わるものとする。

エ 各団体種目の組み合わせ

① **2000m リレーの組み合わせは、リレーにエントリーされた選手の500m ベストタイム上位4選手の平均タイムでランキングを作成し組み合わせられる。**

② チームパシュートレースの組み合わせ方法は、男子・女子ともに学校毎の1500mにエントリーされた選手数によりグループ分けをし、グループ内でランキングを作成し組み合わせられる。
グループ分け、及びグループ内での組み合わせは以下の通りとする。

■ Aグループ：1500mに2名エントリーの学校。

ランキングは1500mにエントリーされた選手の下位者のベストタイムで行う。

■ Bグループ：1500mに1名エントリーの学校。

ランキングは1500mにエントリーされた選手のベストタイムで行う。

■ Cグループ：1500mへのエントリーのない学校。ランキングは抽選で行う。

■ スタート順：Cグループから滑走し、次にBグループの下位の組からAグループ上位の組まで続く。

オ 団体種目に出場する場合は、安全対策として、ヘルメット（ショートトラック競技の基準に適合するもの）・ネックプロテクション・シンガード・アングルプロテクション・手袋の着用を義務付ける。

なお、レーシングスーツは、カットレジスタンスであること、ブレードは両端を丸くカットしてあることが望ましい。

カ 各距離24位までと、各団体種目の12位までに1点を与える。

キ 入賞は各距離、各団体種目8位までとし、得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点を与える。

ク 男女各総合(学校対抗)順位は、各距離、各団体種目の得点を学校別に合計し、その合計点により順位を決定する。但し、同点の場合は、総合6位以内に限り上位入賞の多い学校を上位とする。その決定は、より上位を有する数による。

(2) フィギュア競技

ア 競技は予選、決勝方式により行う。

【予選】 男子クラス・女子クラスともにショートプログラムにより行う。

I S Uジュニアの課題を適用する。

【決勝】 男子クラス・女子クラスともにフリースケーティングにより行う。

I S Uジュニアの男子及び女子のバランスのとれたフリースケーティングを適用する。

イ 選抜方法

- ① 男子クラス・女子クラス予選の得点のそれぞれ上位 24 位までの選手が決勝に進出する。
- ② 参加人数が、男子クラス、女子クラスそれぞれにおいて 48 名以上の場合は、2 つ以上のグループに分けて予選を行う。
- ③ 予選のグループ分け方法

当該年度の全日本フィギュアスケート選手権大会出場、全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会上位 12 位まで、前年度の本大会上位 12 位までの選手を、前記大会順、入賞順に各グループに振り分け、それ以外の選手は、バジジテスト級ごとにそれぞれ抽選で各グループに振り分ける。グループ分けの抽選は、技術代表、スケート専門部及び実行委員会の責任において事前に実施される。グループ分け後に棄権者が出た場合でも、グループの再編成は行わない。

ウ 採点方法 I S Uジャッジングシステムで行う。

エ 滑走時間

男子クラス	予選	ショートプログラム	(2 分 40 秒±10 秒)
	決勝	フリースケーティング	(3 分 30 秒±10 秒)
女子クラス	予選	ショートプログラム	(2 分 40 秒±10 秒)
	決勝	フリースケーティング	(3 分 30 秒±10 秒)

オ 成績

① 個人成績

決勝進出者については、予選の得点と決勝の得点の合計点により個人順位を決定する。同点の場合は、フリースケーティングの得点が高い選手を上位にする。決勝へ進出できなかった者については、決勝進出者の最後の順位に続けて、予選の得点により個人順位を決定する。同点の場合は、技術点の高い者を上位とする。

② 総合(学校対抗)成績

個人順位の逆転法(最下位の順位点を 1 点とし順位が一つ上がるごとに 1 点ずつ加点していく)により個人に順位点を与え、順位点を学校別に集計し、総合順位を決定する。ただし、同点の場合は個人順位の上位者のいる学校を上位とする。

(3) アイスホッケー競技

ア トーナメント競技方法により、1 位、2 位、3 位(2 校)までを決定する。

イ 組み合わせ抽選は、スケート専門部、実行委員会、参加校合同での事前抽選とする。

ウ 組み合わせ抽選の際、前回大会 1 位、2 位、3 位の学校をシードし、地区は考慮しない。

7 引率・監督

(1) 引率責任者は団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。

(2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポ

ーツ安全保険等) に必ず加入することを条件とする。

但し、各都道府県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。

【補足事項】

- (1) スピード競技の引率責任者は、当該校の職員または部活動指導員(以下「職員等」という)とする。但し、やむを得ない事情により当該校の職員等が引率できない場合は、当該学校長から委嘱された他校の職員等が引率することができるが、その際には参加申し込みに委嘱状の写しを添付すること。監督・コーチは当該学校長が認める指導者とし、当該学校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。
- (2) フィギュア競技の引率責任者は監督を兼任し、当該校の職員とする。但し、やむを得ない事情により当該校の職員が引率できない場合は、当該学校長から委嘱された他校の職員が引率することができる。その際は申込時に委嘱状の写しを添付すること。コーチ(インストラクター)は、当該学校長が認める指導者とし、当該学校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。
- (3) アイスホッケー競技の引率責任者は監督を兼任し、当該校の職員とする。
- (4) 引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

8 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 選手は各都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、各都道府県スケート連盟、アイスホッケー連盟を通じてそれぞれ日本スケート連盟または日本アイスホッケー連盟に登録された者であること。
- (3) 年齢は平成14(2002)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、スケート専門部が責任を持って調整・確認する。)大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前6ヶ月が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合にはそのルールに従って変更を認める。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
ア 上記の(1)(2)に定める生徒以外で、大会参加資格を満たすと判断され、かつ都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規程にしたがい大会参加を認める。

イ 上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回までとする。

[大会参加資格の別途に定める規程]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加を認める条件
 - ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校にあつては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあつては部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失うことなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9 参加制限

(1) スピード競技

ア 出場は1校1距離2名以内とし、補欠は1名とする。また個人の出場制限は団体種目を除き2距離以内とし、補欠も1距離と見なす。

※ 1選手の最大エントリー数は個人2距離の他、各団体種目の計4種目である。

イ 2000mリレーの登録は6名以内とし、出場者はそのうちの4名とする。

ウ チームパシュートの登録は4名以内とし、出場者はそのうちの3名とする。

エ 申し込み選手のほか、男女別に監督1名及びコーチ1名以内とする。

オ スピードスケートまたはショートトラックのバッジテストC級以上の資格取得者であること。

(各都道府県で有効期限を確認しておくこと)

カ 外国人留学生については、1校男女各1名とする。

(2) フィギュア競技

ア 共通の参加制限

- ① 令和3年9月1日現在、日本スケート連盟フィギュアスケーティングバッジテスト6級以上の資格取得選手であること。

ただし、女子選手については、下記「イ」の参加制限を課す。

- ② 出場は、1校男女それぞれ選手3名、補欠1名以内とする。補欠との選手変更は、予選滑走順抽選までに文書で届け出た場合のみ認める。
- ③ 申し込み選手のほか、男女別に監督（引率責任者が兼任）1名とし、コーチ（インストラクター）は参加選手1名に対し1名以内とする。
- ④ 都道府県代表特別枠
男子または女子において6級以上の資格による出場者がいない都道府県については、特別枠として男女それぞれ1名の選手の出場を5級取得者に限り認める。
- ⑤ 外国人留学生については、1校男女各1名とする。

イ 女子選手の参加制限

参加数が126名以内となるよう、以下の条件で調整する。

- ① 各都道府県に1名の出場資格を与える。
- ② その他の出場枠に関しては、スケート専門部が別に定める算定基準にしたがい、配分する。
- ③ 開催県枠は最大で6級以上取得選手数の4分の1とする。

(3) アイスホッケー競技

- ア 申し込み選手のほか、監督1名、コーチ1名、トレーナー1名以内とする。但し、チーム事情によりトレーナー1名をコーチとしてもよい。
- イ 各ブロックで予選を行い、代表校を決定する。出場校は各ブロックからの代表26校と開催地推薦校を加えたチームとする（北海道ブロック8校、東北ブロック5校、関東ブロック8校、北信越・東海・近畿ブロック4校、中国・四国・九州ブロック1校）
- ウ 1校1チームとし、1チーム競技出場者はゴールキーパー1名以上2名以内を含めて22名以内とする。但し、試合開始時に最低5名のスケーターと1名のゴールキーパーを氷上に送り出すことができなければならない。
- エ 選手は、全面を覆うフェイスマスク、ネックガード、マウスピースを着用すること。
- オ 外国人留学生については競技出場2名以内とする。

10 参加申込

(1) 申込期限

ア 原本の送付については、令和3年12月1日(水)～27日(月)消印有効

イ データ送信については、令和3年12月27日(月)正午必着

(フィギュア競技出場申込書 [F〇〇県〇〇高校.xlsx] は令和3年12月15日(水)正午必着)

(2) 申込先

〒031-0073

青森県八戸市売市奥遊下3 YSアリーナ八戸内

第71回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会 実行委員会 宛

TEL 080-9988-2407 FAX 050-3852-3862

e-mail 71skateinterhigh2022@aomoriskate.ec-net.jp

(3) 申込方法

ア 各参加校は大会ホームページ (<http://aomoriskate.ec-net.jp/71skateinterhigh2022/>) より各申込用ファイル(学校別申込用、各競技用)をダウンロードして書類を作成し、各都道府県申込責任者に参加料等を添えて提出すること。同時に、各ファイル及び写真を指定のファイル名にして電子メールにて添付送信すること。スピード及びアイスホッケーは宿泊等申込書を配宿センターにFAX送付すること。

① 学校別参加申込 ファイル(〇〇県〇〇高校.xlsx)

【様式 G】 学校別参加申込書(3競技をとりまとめて1部)

「委嘱状」について

当該学校長から委嘱された他校の教職員が引率する場合は、委嘱状の写しを添付すること

② スピード競技申込 ファイル(S〇〇県〇〇高校.xlsx)

プログラム掲載用写真(チーム写真、横長) → S〇〇県〇〇高校.jpg

【様式 S1-1】 スピード競技出場申込書(男子)

【様式 S1-2】 スピード競技出場申込書(女子)

【様式 S2-1】 スピード競技宿泊等申込書

【様式 S2-2】 スピード競技宿泊者名簿

他に各参加者は、J S Fマイページ(<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>)の競技会参加申込サイトからオンライン申込をすること。システムへの入力については、12月27日正午で終了しその後の入力はできない。「各距離の補欠」「2000mリレー」「チームパシュート」についても入力する。

「タイムランキング」について

データの締め切り後各距離のタイムランキングを大会ホームページに掲載する。各校の記載責任者は、期間中(1月1日～1月3日)に最高タイムを確認し、ランキングのタイムに誤りがある場合は、スピード競技最高記録確認依頼書【様式 S3】を組み合わせ抽選会議前日(1月4日)までに電子メールで事務局に送信すること。なお、期限までに確認依頼がされない場合タイムの訂正はしない。

③ フィギュア競技申込 ファイル(F〇〇県〇〇高校.xlsx)

プログラム掲載用写真(個人写真、縦長) → F〇〇県〇〇高校〇〇〇〇(選手名).jpg

【様式 F1-1】 フィギュア競技出場申込書(男子)

【様式 F1-2】 フィギュア競技出場申込書(女子)

【様式 F2】 フィギュア競技宿泊申込**確認書**

他に各参加選手は「フィギュアスケート競技演技予定要素リスト」を令和4年1月7日(金)までにJ S Fマイページ(<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>)の競技会参加申込サイトからオンライン登録すること。

④ アイスホッケー競技申込 ファイル(H〇〇県〇〇高校.xlsx)

プログラム掲載用写真(チーム写真、横長) → H〇〇県〇〇高校.jpg

【様式 H1】 アイスホッケー競技出場申込書

【様式 H2-1】 アイスホッケー競技宿泊等申込書

【様式 H2-2】 アイスホッケー競技宿泊者名簿

【様式 H3】 組み合わせ抽選会議参加確認用紙

イ 各都道府県申込責任者は参加校の関係書類を確認の上、大会ホームページより書類(各都道府県用)をダウンロードして書類を作成し、参加校の書類と合わせて所属高等学校体育連盟会長を経由して送付すること。

同時に都道府県別申込ファイルを電子メールにて添付送信すること。また、八戸会場の役員・視察員の宿泊申し込みがある場合は宿泊等申込書(八戸)を配宿センターにFAX送付すること。

① 都道府県別申込ファイル(〇〇県.xlsx)

【様式 P1】 申込送付書及び送金確認書

【様式 P2】 都道府県選手団申込一覧表

【様式 P3】 役員・視察員 宿泊等申込書 (八戸)

【様式 P4】 役員・視察員 宿泊申込**確認書** (青森)

【様式 P5】 参加選手団 連絡票

② 参加料、プログラム代金及び大会報告書代金の送金は銀行振込とし、銀行で発行された振込金受領書のコピーを必ず【様式 P1】の裏面に貼付すること。

送金の際には、実行委員会が指定した口座に電信扱いで振り込むこと(振込手数料は申込者の負担とする)また、送金依頼人名は都道府県名がわかるようにすること。なお、実行委員会からは、各参加校の参加料・プログラム代金等の領収書は発行しない。

ウ 申込書類の送付は、発送記録が残る方法(書留等)で行うこと。

エ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは受け付けない。

オ 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

1.1 参加料

(1) スピード競技

1名1距離ごとに4,500円(団体種目は除く)。但し補欠選手の参加料は徴収しない。

(2) フィギュア競技

1名 4,500円。但し補欠選手の参加料は徴収しない。

(3) アイスホッケー競技

1チーム45,000円。

(4) 納入

申込と同時に納入すること。参加の取り消しがあっても返金しない。

(5) 振込先

指定銀行	青森銀行 八戸駅前支店 (アメリギンコウ ハチハエキマエシテン)
預金口座	店番322 普通 口座番号3060059
口座名義	スケートインターハイ実行委員会 事務局長 渡辺 学 (スケートインターハイ ジョウウイイカイ ジムキョウチョウ ワタナベ マサフミ)

(6) プログラム

1部1,500円で販売する。代金は参加申込と同時に納入すること。

ただし、アイスホッケー競技参加校に2部を監督会議会場にて無償配付する。

(7) 大会報告書

1部2,000円(送料含む)で販売する。代金は、参加申込と同時に納入すること。

1.2 表彰

(1) スピード競技

ア 男女別に総合（学校対抗）6位までに賞状、優勝校には（公財）全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、（公財）日本スケート連盟会長杯（以上持ち回り）、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 男女別に各距離、各団体種目の8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。

(2) フィギュア競技

ア 男女別に総合（学校対抗）6位までに賞状、優勝校には（公財）全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、（公財）日本スケート連盟会長杯（以上持ち回り）、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 男女別に個人8位までに賞状、3位までに入賞メダルを授与する。

(3) アイスホッケー競技

ア 3位（2校）までに賞状、優勝校には（公財）全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、（公財）日本アイスホッケー連盟会長杯（以上持ち回り）、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。

イ 3位までの各選手に賞状と入賞メダルを授与する。

1.3 宿泊

宿泊については、「宿泊要項」による。（申込締切は 令和3年12月22日（水）12時）

1.4 輸送

輸送については、「輸送要項」による。

1.5 医療救護

医療救護については、「医療救護要項」による。

1.6 諸会議

名 称	競技	日 時(令和4年)	会 場
抽選会議	スピード	1月 5日（水）13時00分～	実行委員会事務局
	フィギュア	1月 5日（水）14時00分～ （予選グループ分けのみ）	実行委員会事務局
	アイスホッケー	1月 5日（水）15時00分～	実行委員会事務局
監督会議	スピード	1月17日（月）12時30分～	八戸市スポーツ研修センター
	フィギュア	1月17日（月）12時30分～	ホテル青森
	アイスホッケー	1月17日（月）12時30分～	八戸市スポーツ研修センター

1.7 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについては、「第71回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー一競技選手権大会における個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて」による。

1.8 連絡事項

(1) 諸事情により不参加が決定した学校は、速やかにその旨を実行委員会に連絡すること。

(2) 各競技の練習時間は、実行委員会で割り当てる。

- (3) スピード競技出場者は、日本スケート連盟登録競技者証及びバッジテスト認定証を持参すること。
- (4) フィギュア競技の引率責任者は、選手のショートプログラム競技で使用する音楽録音媒体を、監督会議に持参すること。また、競技出場者は大会期間中フィギュアスケーティングバッジテスト受験者手帳を携帯していなければならない。
- (5) フィギュア競技で使用する音楽録音媒体は、CDとする。録音媒体には、学校名・選手名を明記すること（シール等を媒体に貼付しないこと）。また、万々に備えて、予備のCDを必ず用意しておくこと。
- (6) 貴重品の管理については、各自の責任において行うこと。

1.9 実行委員会

令和3年度全国高等学校総合体育大会

第71回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

青森県実行委員会 事務局

TEL 080-9988-2407 FAX 050-3852-3862

e-mail 71skateinterhigh2022@aomoriskate.ec-net.jp

- (1) 令和3年11月30日（火）以前、及び、令和4年2月1日（火）以降
〒039-1101 青森県八戸市尻内町中根市14 青森県立八戸西高等学校内
- (2) 令和3年12月1日（水）から令和4年1月31日（月）まで
〒031-0073 青森県八戸市売市興遊下3 YSアリーナ八戸内

2.0 各会場の所在地

区分	会場名	住所
開始式(スピード・アイスホッケー)	YSアリーナ八戸	〒031-0073 八戸市売市興遊下3
開始式(フィギュア)	ホテル青森	〒030-0812 青森市堤町一丁目1-23
スピード競技	YSアリーナ八戸	〒031-0073 八戸市売市興遊下3
フィギュア競技	盛運輸アリーナ	〒030-0843 青森市浜田豊田地内
アイスホッケー競技	テクノルアイスパーク八戸 フラット八戸 ふくちアイスアリーナ	〒031-0816 八戸市新井田西四丁目1-1 〒039-1101 八戸市尻内町三丁目7-7 〒039-0802 南部町苫米地上根岸73-1

2.1 大会ホームページ

<http://aomoriskate.ec-net.jp/71skateinterhigh2022/>